

JAMA・JAPIA

**カレンダー情報
XML 導入ガイドライン
(SyncCalender)**

V2.00
JAMAEIE117

2012 年 03 月 31 日



Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

一般社団法人 日本自動車工業会
電子情報委員会 ビジネス システム部会



Japan Auto Parts Industries Association

一般社団法人 日本自動車部品工業会
IT対応委員会 EDI部会

日本の自動車業界では、OEM・サプライヤ間の取引の標準技術として EDIFACT を採用し推進してきている。一方、近年のインターネットを取り巻く環境の進展や、企業間取引に関する XML 関連技術の整備が進み、企業間取引に関連した新しい技術が出てきており、対応が必要になってきている。具体的には、中小企業や新興国への EDI の普及のニーズにより、米国や欧州では自動車業界の標準の伝票を XML 化したり、ebXML や Web サービスにより企業間取引の標準化を推進する動きが進みつつある。こうした背景のもと、日米欧3極間の協調活動(JAIF:Joint Automotive Industry Forum)の一環として、グローバルな自動車業界で標準的に使うための XML ガイドライン(グローバル XML)を作成した。

本ガイドラインは、一般社団法人 日本自動車工業会(JAMA)・電子情報委員会ビジネス システム部会において、社団法人 日本自動車部品工業会(JAPIA)・IT対応委員会EDI部会の協力を得て、日本自動車産業界における部品発注業務の EDI 標準化を目的に、JAIF が定めたグローバル XML の‘SyncCalender’を基にした「カレンダー」情報の標準を定めたものである。

本ガイドラインは、JAMA・JAPIA EDIFACT PROTAP 導入ガイドラインと同じ情報を扱うことができる仕様となっているので、各社の業務ニーズに合わせてXMLまたはEDIFACTを選択することが可能である。

本ガイドラインは、必要に応じて順次改良されていくべきものであり、メンテナンスは、「JAMA・JAPIA EDI 標準ガイドライン 維持・管理規則」に従い実施される。

なお、本ガイドラインを利用する場合には、「JAMA・JAPIA 取引情報標準書(XML 版、別冊)」を参照されることを推奨する。また、本ガイドラインを利用して各社におけるメッセージ仕様書を作成する場合には、「JAMA・JAPIA XML 仕様書作成ガイドライン」を参照されたい。

目次

前書き	… 1
1. はじめに	… 3
2. SyncCalender メッセージの概要	… 4
2.1 SyncCalender でカバーされるビジネス機能	… 4
2.2 カレンダー情報に必要な項目	… 4
2.3 JAMA・JAPIA 遵守事項	… 5
2.4 特記事項	… 5
2.4.1 関連する企業の関係	… 5
3. メッセージ記述	… 6
3.1 構造表	… 6
3.1.1 構造表の見方	… 6
3.1.2 要素・属性の必須と任意の考え方	… 7
3.1.3 SyncCalender 構造表	… 8
3.2 詳細記述	
3.2.1 詳細記述の見方	… 9
3.2.2 使用できる文字について	…10
3.2.3 SyncCalender 詳細記述	…11
4. XML 文書の宣言とスキーマ	…18
4.1 XML 文書の宣言文	
4.2 JAMA・JAPIA 標準スキーマ	
5. SyncCalender メッセージテンプレート	…19
付録. EDIFACT/PROTAP.D07A との Mapping 表	…21
(1) Mapping 情報の見方	…21
(2) EDIFACT/ PROTAP.D07A との Mapping 表	…22

1. はじめに

本ガイドラインにはつぎの狙いがある。

- 利用者の固有フォーマットから XML フォーマットへの移行を容易にする。
- 今後の EDI 導入において、XML を利用した JAMA・JAPIA 標準の利用を促進する。

XML を使用する利点は、

- 全世界とデータ交換ができる。
- 全業種とデータ交換ができる。
- 業界内の全企業とデータ交換ができる。
- 企業内のデータ交換にも利用できる。
- 新規取引先とのデータ交換が容易に実現できる。

これらの利点は、取引企業双方が、本ガイドラインのような業界規約を利用する場合に意味がある。特に、ある企業が複数の企業と取引を行う場合に、この標準規約を基準とした XML フォーマットを企業間で合意することが重要である。

2. SyncCalender メッセージの概要

2.1 SyncCalender でカバーされるビジネス機能

カレンダー情報は、主として発注者が受注者に対し、発注者および納入先の稼動スケジュールを示すための情報である。受注者はこの情報により、部品の製造、出荷のスケジュールを検討することができる。

2.2 カレンダー情報に必要な項目

SyncCalender メッセージには、ヘッダーと明細領域が存在する。ヘッダーとして伝送された情報は、明細領域に含まれるすべての明細品目に適用される。

SyncCalender の基本データは以下の通り。

ヘッダー部

カレンダー対象月／対象期間

カレンダー部

発注者、納入先(+事業所)、対象部署
稼動日数、カレンダー
参照カレンダーID
担当者

2.3 JAMA・JAPIA 遵守事項

ここでは、JAMA・JAPIA(日本自動車業界)としての遵守事項を記述する。

- SyncCalender メッセージの発行は、事前に基本契約がなされていることが前提である。
- SyncCalender メッセージを交換する前に、データ交換する2社間において、適用する国際規約・標準および社内システムの能力・制約について合意しておく必要がある。
- SyncCalender メッセージはいかなる周期でも発行できる。また、指定できる期間も任意である。これらの取り決めは、両者間で合意しておく必要がある。
- 本ガイドラインは、データ交換に必要な2社間合意において、使用する条件を取り決める際の標準項目をガイドするものである。最終的な決定は、利用する2社の責任である。
- 1つのメッセージの中では、発注者、または、その事業所(工場)単位での稼動カレンダー情報を複数入れることができる。

2.4 特記事項

2.4.1 関連する企業の関係

SyncCalender メッセージでは、発注者、受注者など、複数の関連企業を設定できる。下記にその定義と関連を示す。

- 発注者: 部品を発注する企業 (+ 事業所)。
- 受注者: 部品を受注する企業 (+ 事業所)。
- 納入先: 部品を受け入れる企業 (+ 事業所)。支給の場合、支給先を表す。

3. メッセージ記述

3.1 構造表

構造表とは、XML の階層構造を見やすくする為、要素名および属性名とその親子関係を階層構造で示したものである。 SyncCalender の構造表は、3.1.3 章に記載している。

3.1.1 構造表の見方

- (1)Position : グローバル XML の開始タグおよび属性に JAMA で番号を割り当てたもの。
Global XML の開始タグおよび属性に10番毎に番号を割り当てたもので、JAMA で使用しない開始タグおよび属性は削除しているので、番号が飛んでいる個所がある。
- (2)Element/Attribute : 要素名および属性名とその親子関係を階層構造で示したもの。
階層構造は階層別に色分けをしている。
 - ・要素名:要素の先頭を表す文字列。子要素を持つ要素には終了タグ(/要素名)がある。
 - ・属性名:イタリック体で表し、要素に対して付加的に使用する情報の名前
- (3)JAMA Usage : 要素および属性が、必須であるか任意であるかを JAMA で規定したもの。
 - ・M(Mandatory) :必須要素でグローバル XML で M としているもの
 - ・R(Recommended) :必須要素でグローバル XML で O としているもの
 - ・O(Optional) :任意要素
- (4)JAMA Occurrence : JAMA で規定した出現回数
 - <要素の場合>
 - ・0 .. n :任意要素で最大n回繰り返し可能
 - ・1 .. n :必須要素で最大n回繰り返し可能
 - <属性の場合>
 - ・required :必須属性(1回のみ)
 - ・optional :任意属性(最大1回)
- (5)解説 : 要素および属性の説明

3.1.2 要素・属性の必須と任意の考え方

親要素が任意であっても、子要素を使用する場合、その親要素は必須となる。

子要素が必須であった場合でも、子要素を使用しない場合は、親要素が任意であれば親要素ごと省略する事が出来る。

例えば、図 3-1 で表される oa:Party において、発信元の窓口担当者のコードを送りたいときは、oa:Contact に含まれる oa:ID をセットする必要がある。この場合、親要素の oa:Contact は必須となり、その属性 *type* は R(必須)の為、必ず設定しなければならない。

その結果、図 3-2 のような XML 文書(インスタンス)となる。

(図 3-1)

Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence
oa:Party	M	1 .. 1
<i>role</i>	R	required
oa:PartyIDs	R	1 .. 1
oa:ID	R	1 .. 1
<i>schemeAgencyID</i>	O	optional
/oa:PartyIDs		
oa:Name	O	0 .. 1
oa:Contact	O	0 .. 5
<i>type</i>	R	required
oa:ID	O	0 .. 1
oa:Name	O	0 .. 1
/oa:Contact		
/oa:Party		

(図 3-2)

```
<oa:Party role="BY">
  <oa:Party IDs>
    <oa:ID schemeAgencyID="92">1234</oa:ID>
  </oa:Party IDs>
  <oa:Contact type="DL">
    <oa:ID>ABCD</oa:ID>
  </oa:Contact>
</oa:Party>
```


3.1.3 SyncCalendar構造表

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	解 説
0000	jai:SyncCalendar			
0001	xmlns:jai	R	required	http://www.jama.or.jp/jai/v2
0002	xmlns:oa	R	required	http://www.jama.or.jp/oa/v2
0003	xmlns:xsi	R	required	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
0004	xsi:schemaLocation	R	required	スキーマのファイル名を設定する
0010	releaseID	R	required	基準となるJAIグローバルバージョン
0020	versionID	R	required	発行機関名称コード
0030	jai:ApplicationArea	R	1..1	送受信情報を設定する
0040	jai:Sender	R	1..1	送信者情報
0050	oa:LogicalID	R	1..1	送信者識別コード(標準企業コードを推奨する)
0060	schemaAgencyID	O	optional	送信者識別修飾子
0070	jai:InterchangeDateTime	O	0..1	送信日時刻
	/jai:Sender			
0080	oa:BODID	O	0..1	処理番号
0090	jai:Receiver	R	1..1	受信者情報
0100	oa:LogicalID	R	1..1	受信者識別コード(標準企業コードを推奨する)
0110	schemaAgencyID	O	optional	受信者識別修飾子
	/jai:Receiver			
	/jai:ApplicationArea			
0120	jai:DataArea	R	1..1	メッセージの開始
0130	oa:Sync	O	0..1	
0140	oa:ActionCriteria	R	1..1	
0150	oa:ChangeStatus	R	1..1	変更情報提供識別を設定する。
0160	oa:Code	R	1..1	変更情報提供識別
	/oa:ChangeStatus			
	/oa:ActionCriteria			
	/oa:Sync			
0170	jai:Calendar	R	1..1	実データ部の開始
0180	jai:CalendarHeader	R	1..1	データ部のヘッダーの開始
0190	oa:DocumentID	O	0..1	適用する仕様書を設定する
0200	oa:ID	M	1..1	本ガイドラインのJAMA発行番号+各社メッセージ仕様書名
0210	oa:RevisionID	O	0..1	各社メッセージ仕様書のリビジョン番号
0220	oa:VariationID	O	0..1	各社メッセージ仕様書のバージョン番号
	/oa:DocumentID			
0230	oa:DocumentDateTime	R	1..1	発行日/時刻を設定する
0240	oa:Party	O	0..9	発注者・受注者の企業情報を設定する
0250	role	R	required	発注者・受注者の識別コード
0260	oa:PartyIDs	O	0..1	
0270	oa:ID	R	1..1	会社企業コード(+事業所コード)
0280	schemaAgencyID	O	optional	コード管理者識別コード
	/oa:PartyIDs			
0290	oa:Name	O	0..5	企業名(+事業所名)
	/oa:Party			
0310	jai:DateTimePeriod	O	0..9	カレンダー対象期日、対象範囲を設定する
0320	type	R	required	日付に関する識別コード
0330	jai:DateTimeText	R	1..1	上記に対応する具体的な日付
0340	FormatCode	R	required	日付のフォーマット
	/jai:DateTimePeriod			
	/jai:CalendarHeader			
0350	jai:CalendarLine	R	1..9999	明細部を設定する
0360	oa:DocumentReference	O	0..9	カレンダーに関する参考情報を設定する
0370	type	R	required	各種識別・区分
0380	oa:DocumentID	R	1..1	
0390	oa:ID	M	1..1	カレンダーID
	/oa:DocumentID			
	/oa:DocumentReference			
0400	oa:Party	R	1..1	カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の企業情報を設定する
0410	role	R	required	発注者または納入先を示す識別コード
0420	oa:PartyIDs	O	0..1	
0430	oa:ID	R	1..1	会社企業コード(+事業所コード)
0440	schemaAgencyID	O	optional	コード管理者識別コード
	/oa:PartyIDs			
0450	oa:Name	O	0..5	企業名(+事業所名)
0460	oa:Contact	O	0..9	カレンダー適用部署または担当者を設定する
0470	type	R	required	担当に関する識別コード。カレンダー適用部署をセットする場合は手配担当を使用する。
0480	oa:ID	O	0..1	部署コードまたは担当者コード
0490	oa:Name	O	0..1	部署名または担当者名
	/oa:Contact			
	/oa:Party			
0540	jai:DateTimePeriod	O	0..99	カレンダーを設定する
0550	type	R	required	カレンダーの内容を区別する識別コード
0560	jai:DateTimeText	R	1..1	上記に対応する具体的な値
0570	FormatCode	R	required	日付のフォーマット
	/jai:DateTimePeriod			
	/jai:CalendarLine			
	/jai:Calendar			
	/jai:DataArea			
	/jai:SyncCalendar			

3.2 詳細記述

3.2.1 詳細記述の見方(図 3-3 参照)

- (1) Position : グローバル XML の開始タグおよび属性に JAMA で番号を割り当てたもの。
Global XML の開始タグおよび属性に10番毎に番号を割り当てたもので、JAMA で使用しない開始タグおよび属性は削除しているため、番号が飛んでいる箇所がある。
- (2) Element/Attribute : 要素名および属性名とその親子関係を階層構造で示したもの。
階層構造は階層別に色分けをしている。
 - ・要素名:要素の先頭を表す文字列。子要素を持つ要素には終了タグ(/要素名)がある。
 - ・属性名:イタリック体で表し、要素に対して付加的に使用する情報の名前
- (3) JAMA Usage : 要素および属性が、必須であるか任意であるかを JAMA で規定したもの。
 - ・M(Mandatory) :必須要素でグローバル XML で M としているもの
 - ・R(Recommended) :必須要素でグローバル XML で O としているもの
 - ・O(Optional) :任意要素
- (4) JAMA Occurrence : JAMA で規定した出現回数
 - <要素の場合>
 - ・0 .. n :任意要素で最大n回繰り返し可能
 - ・1 .. n :必須要素で最大n回繰り返し可能
 - <属性の場合>
 - ・required:必須属性(1回のみ)
 - ・optional :任意属性(最大1回)
- (5) データ型 : 入力データの型
 - ・String : 文字列
 - ・DateTime : 日付時間
 - ccyy-mm-dd 年月日
 - ccyy-mm-ddThh:mm:ss 年月日時分秒(時分秒の前には T が必要)
- (6) データ長 : 入力データの最大桁数
- (7) 解説 : 要素および属性の説明
 - ・概要 : 機能の説明
 - ・Example : XML 形式で記述した場合の例
 - ・固定値 : 必ず設定する値、または文字列
 - ・コード : 設定できる識別コード

(図 3-3)

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解 説
	jai:SyncPlanningSchedule	R	required			概要 名前空間を設定する 固定値 http://www.openapplications.org/oagis/9/jai/jama/v2 http://www.openapplications.org/oagis/9/jama/v2 http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
	<i>xmlns:jai</i> <i>xmlns:oa</i> <i>xmlns:xsi</i> <i>xsi:schemaLocation</i>	R	required			概要 スキーマのファイル名を設定する 固定値 http://www.openapplications.org/oagis/9/jai SyncPlanningSchedule-Guide.xsd
0010	releaseID	R	required	String	6	概要 基準となるJAIFグローバルバージョン 固定値: JAI
0020	versionID	R	required	String	6	概要 発行機関名称コード 固定値: GD0000
0030	jai:ApplicationArea	R	1 .. 1			概要 送受信情報を設定する
0040	jai:Sender	R	1 .. 1			概要 送信者情報
0050	<i>oa:LogicalID</i>	R	1 .. 1	String	35	概要 送信者識別コード(標準企業コードを推奨する) Example: <oa:LogicalID schemeAgencyID="92">123456789</oa:LogicalID>
0060	<i>schemaAgencyID</i>	O	optional	String	4	概要 送信者識別修飾子 コード 説明 92 Assigned by buyer or buyer's agent 各社独自のコードを使用する場合 289 JP,JIPDEC/ECPC (Japan Information Processing Development Center / Electronic Commerce Promotion Center) JIPDEC/ECPC CII標準企業コード 311 JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd.) 帝国データバンクの企業コード

3.2.2 使用できる文字について

(1)使用できる文字コード

①UTF-8 を推奨する。

XML メッセージの先頭行(XML 宣言)で設定する。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

②日本語(2バイト文字)表記

日本語表記は可能。ただし、半角カタカナの使用は推奨しない。

(2)文字に関する注意事項

①半角の不等号(< >)と&は、データの中で使用できない。使用する場合は、W3C(World Wide Web Consortium:民間の標準化団体)の勧告に従う。

②コメントの中に文字列“--”(連続した二つのハイフン)は現われてはならない。

3.2.3 SyncCalendar詳細記述

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解説
0000	jai:SyncCalendar					
0001	xmlns:jai	R	required			概要 名前空間を設定する 固定値: http://www.jama.or.jp/jai/v2
0002	xmlns:oa	R	required			http://www.jama.or.jp/oa/v2
0003	xmlns:xsi	R	required			http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
0004	xsi:schemaLocation	R	required			スキーマのファイル名を設定する 固定値: http://www.jama.or.jp/jai/v2 SyncCalendar-Guide-v2.0.xsd
0010	releaseID	R	required	String	6	概要 基準となるJAIFグローバルバージョン
0020	versionID	R	required	String	6	Example: JAI 発行機関名称コード 概要 GD0000
0030	jai:ApplicationArea	R	1..1			概要 送受信情報を設定する
0040	jai:Sender	R	1..1			概要 送信者情報
0050	oa:LogicalID	R	1..1	String	35	概要 送信者識別コード(標準企業コードを推奨する) Example: <oa:LogicalID schemeAgencyID="92">123456789</oa:LogicalID>
0060	schemeAgencyID	O	optional	String	4	概要 送信者識別修飾子 コード 説明 92 Assigned by buyer or buyer's agent 各社独自のコードを使用する場合 289 JP, JIPDEC/EPC (Japan Information Processing Development Center / Electronic Commerce Promotion Center) 311 JIPDEC/EPC C11標準企業コード JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd.) 帝国データバンクの企業コード
0070	jai:InterchangeDateTime	O	0..1	DateTime	19	概要 送信日時刻 Example: <jai:InterchangeDateTime>2010-10-08T10:12:00</jai:InterchangeDateTime>
0080	jai:Sender oa:BODID	O	0..1	String	14	概要 処理番号 Example: <oa:BODID>123456</oa:BODID>

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解説
0090	/jai:Receiver	R	1..1			概要 受信者情報
0100	oa:LogicalID	R	1..1	String	35	概要 受信者識別コード(標準企業コードを推奨する) Example: <oa:LogicalID schemeAgencyID="92">987654321</oa:LogicalID>
0110	schemaAgencyID	O	optional	String	4	概要 受信者識別修飾子 コード 説明 92 Assigned by buyer or buyer's agent 各社独自のコードを使用する場合 289 JP, JIPDEC/ECPC (Japan Information Processing Development Center / Electronic Commerce Promotion Center) 311 JIPDEC/ECPC C11標準企業コード JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd.) 帝国データバンクの企業コード
	/jai:Receiver					
	/jai:ApplicationArea					
0120	jai:DataArea	R	1..1			概要 メッセージの開始
0130	oa:Sync	O	0..1			
0140	oa:ActionCriteria	R	1..1			
0150	oa:ChangeStatus	R	1..1			概要 変更情報提供識別を設定する。
0160	oa:Code	R	1..1	String	3	概要 変更情報提供識別 Example: <oa:Code>9</oa:Code>
	/oa:ChangeStatus					コード 説明 9 Original オリジナルを送付する
	/oa:ActionCriteria					
	oa:Sync					
0170	jai:Calendar	R	1..1			概要 実データ部の開始
0180	jai:CalendarHeader	R	1..1			概要 データ部のヘッダーの開始
0190	oa:DocumentID	O	0..1			概要 適用する仕様書を設定する
0200	oa:ID	M	1..1	String	35	概要 本ガイドラインのJAMA発行番号+各社メッセージ仕様書名 Example: <oa:ID>JAMAEIE102-ABC-GUIDE</oa:ID>
0210	oa:RevisionID	O	0..1	String	6	概要 各社メッセージ仕様書のリビジョン番号 Example: <oa:RevisionID>REL0.1</oa:RevisionID>
0220	oa:VariationID	O	0..1	String	9	概要 各社メッセージ仕様書のバージョン番号 Example: <oa:VariationID>VER1.0</oa:VariationID>
	/oa:DocumentID					

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解説
0230	oa:DocumentDateTime	R	1 .. 1	DateTime	19	発行日/時刻を設定する Example: <oa:DocumentDateTime>2010-10-08</oa:DocumentDateTime> <oa:DocumentDateTime>2010-10-08T10:12:00.000</oa:DocumentDateTime>
0240	oa:Party	O	0 .. 9			発注者・受注者の企業情報を設定する Example: <oa:Party role="BY">...</oa:Party>
0250	role	R	required	String	3	発注者・受注者の識別コード 説明 BY Buyer SE Seller 受注者
0260	oa:PartyIDs	O	0 .. 1			会社企業コード(+事業所コード)
0270	oa:iD	R	1 .. 1	String	35	Example: <oa:iD schemeAgencyID="92">88012</oa:iD>
0280	schemeAgencyID	O	optional	String	3	コード管理者識別コード 説明 92 Assigned by buyer or buyer's agent 各社独自のコードを使用する場合 JP, JIPDEC/ECPC (Japan Information Processing Development Center / Electronic Commerce Promotion Center) JIPDEC/ECPC CII標準企業コード JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd.) 帝国データバンクの企業コード
0290	/oa:PartyIDs oa:Name	O	0 .. 5	String	175	企業名(+事業所名) Example: <oa:Name>OEM INC</oa:Name>
	/oa:Party					

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解 説
0310	jai:DateTimePeriod	O	0 .. 9			概要 Calendar-対象期日、対象範囲を設定する Example: <jai:DateTimePeriod type="257">...</jai:DateTimePeriod>
0320	<i>type</i>	R	required	String	3	概要 日付に関する識別コード コード 説明 157 Validity start date 対象基準日(終了日の指定無し) 158 Horizon start date 対象基準日(開始日)159とペアで使用 159 Horizon end date 対象基準日(終了日)158とペアで使用 257 Calculation date time 処理日/時刻 540 Instruction's original execution date オリジナルデータ作成日/時刻
0330	jai:DateTimeText	R	1 .. 1	String	35	概要 上記に対応する具体的な日付 Example: <jai:DateTimeText FormatCode="102">20101005</jai:DateTimeText>
0340	<i>FormatCode</i>	R	required	String	3	概要 日付のフォーマット コード 説明 6 CCYYMMB 年月前後半 7 CCYYMMW 年月週 102 CCYYMMDD 年月日 203 CCYYMMDDHHMM 年月日時分 204 CCYYMMDDHHMMSS 年月日時分秒 610 CCYYMM 年月 614 CCYYMMA 年月旬 616 CCYYWW 年月週
	/jai:DateTimePeriod					
	/jai:CalendarHeader					

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解説
0350	jai:CalendarLine	R	1 .. 9999			概要 明細部を設定する
0360	oa:DocumentReference	O	0 .. 9			概要 カレンダーに関する参考情報を設定する Example: <oa:DocumentReference type="AOJ">...</oa:DocumentReference>
0370	type	R	required	String	3	概要 各種識別・区分 コード 説明 AOJ Calendar カレンダー
0380	oa:DocumentID	R	1 .. 1			概要 カレンダーID
0390	oa:ID	M	1 .. 1	String	70	概要 カレンダーID Example: <oa:ID>ORD0001</oa:ID>
0400	/oa:DocumentID /oa:DocumentReference oa:Party	R	1 .. 1			概要 カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の 企業情報を設定する Example: <oa:Party role="ST">...</oa:Party>
0410	role	R	required	String	3	概要 発注者または納入先を示す識別コード コード 説明 BY Buyer ST 発注者 Ship to 納入先
0420	oa:PartyIDs	O	0 .. 1			概要 会社企業コード(+事業所コード)
0430	oa:ID	R	1 .. 1	String	35	概要 Example: <oa:ID schemeAgencyID="92">123456789</oa:ID>
0440	schemeAgencyID	O	optional	String	3	概要 コード管理者識別コード コード 説明 92 Assigned by buyer or buyer's agent 各社独自のコードを使用する場合 JP, JIPDEC/ECPC (Japan Information Processing Development Center / Electronic Commerce Promotion Center) 289 JIPDEC/ECPC CII標準企業コード JP, TDB (Teikoku Databank, Ltd.) 311 帝国データバンクの企業コード
0450	/oa:PartyIDs oa:Name	O	0 .. 5	String	175	概要 企業名(+事業所名) Example: <oa:Name>ABC Company</oa:Name>

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解説
0460	oa:Contact	O	0 .. 9			カレンダー適用部署または担当者を設定する Example: <oa:Contact type="DL">...</oa:Contact>
0470	type	R	required	String	3	担当に関する識別コード。カレンダー適用部署をセットする場合手配担当を使用する。 コード DL Delivery contact 手配担当 IC Information contact 情報システム担当 SC Schedule contact 進捗担当
0480	oa:ID	O	0 .. 1	String	17	概要 部署コードまたは担当者コード Example: <oa:ID>ID45238</oa:ID>
0490	oa:Name	O	0 .. 1	String	256	概要 部署名または担当者名 Example: <oa:Name>KOUKI</oa:Name>
	/oa:Contact					
	/oa:Party					
0540	jai:DateTimePeriod	O	0 .. 99			概要 カレンダーを設定する Example: <jai:DateTimePeriod type="490">...</jai:DateTimePeriod>
0550	type	R	required	String	3	概要 カレンダーの内容を区別する識別コード コード 157 Validity start date 対象基準日(終了日の指定無し) 158 Horizon start date 対象基準日(開始日)159とペアで使用 159 Horizon end date 対象基準日(終了日)158とペアで使用 314 Planned duration of works 稼働日または、稼働/非稼働(またはシフト状況)を示す記号 345 Days of operation 稼働日数 490 Selection period, start date 稼働開始日(期間の最初の日を示す)

Position	Element/Attribute	JAMA Usage	JAMA Occurrence	データ型	データ長	解 説
0560	jai:DateTimeText	R	1 .. 1	String	35	概要 上記に対応する具体的な値 Example: <jai:DateTimeText FormatCode="102">20101005</jai:DateTimeText>
0570	FormatCode	R	required	String	3	概要 日付のフォーマット
					コード	説明
					6	CCYYMMB 年月前後半
					7	CCYYMMW 年月週
					102	CCYYMMDD 年月日
					610	CCYYMM 年月
					614	CCYYMMA 年月旬
					616	CCYYWW 年週
					814	Working days 稼働日数
					ZZZ	(JAMA独自コード) 31桁記号列(稼働/非稼働の日/シフトの指定)
	/jai:DateTimePeriod					
	/jai:CalendarLine					
	/jai:Calendar					
	/jai:DataArea					
	/jai:SyncCalendar					

4. XML 文書の宣言とスキーマ

4.1 XML 文書の宣言文

(1)XML 宣言

XML 文書の先頭に以下の宣言文をつける。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

(2)ルートエレメントの書き方

ルートエレメントに JAMA で指定するスキーマと名前空間の宣言を行う。

```
<jai: SyncCalender  
  xmlns:jai="http://www.openapplications.org/oagis/9/jai/jama/v○"  
  xmlns:oa="http://www.openapplications.org/oagis/9/jama/v○"  
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"  
  xsi:schemaLocation="http://www.openapplications.org/oagis/9/jai SyncCalender-Guide-v  
    ○.△.xsd"  
    releaseID="JAI "  
    versionID="GD0000 ">
```

上記「v○」と「v○.△」の○と△の部分はガイドラインのバージョン番号、リリース番号を入れる。

例えば、ガイドラインのバージョン V2.01 の場合、「v2」、「v2.0」となる。

4.2 JAMA・JAPIA 標準スキーマ

JAMA・JAPIA 標準スキーマは、標準化団体 OAG が制定したスキーマをベースに、JAIF が世界の自動車業界向けに必要な部分をカスタマイズしたものを使用している。

このため、XML 文書(インスタンス)の中で、OAG 標準のものは名前空間 oa:、JAIF でカスタマイズしたものは名前空間 jai:をつけている。

JAMA・JAPIA 標準スキーマは、JAMA ホームページよりダウンロード出来る。

5. SyncCalendarメッセージテンプレート

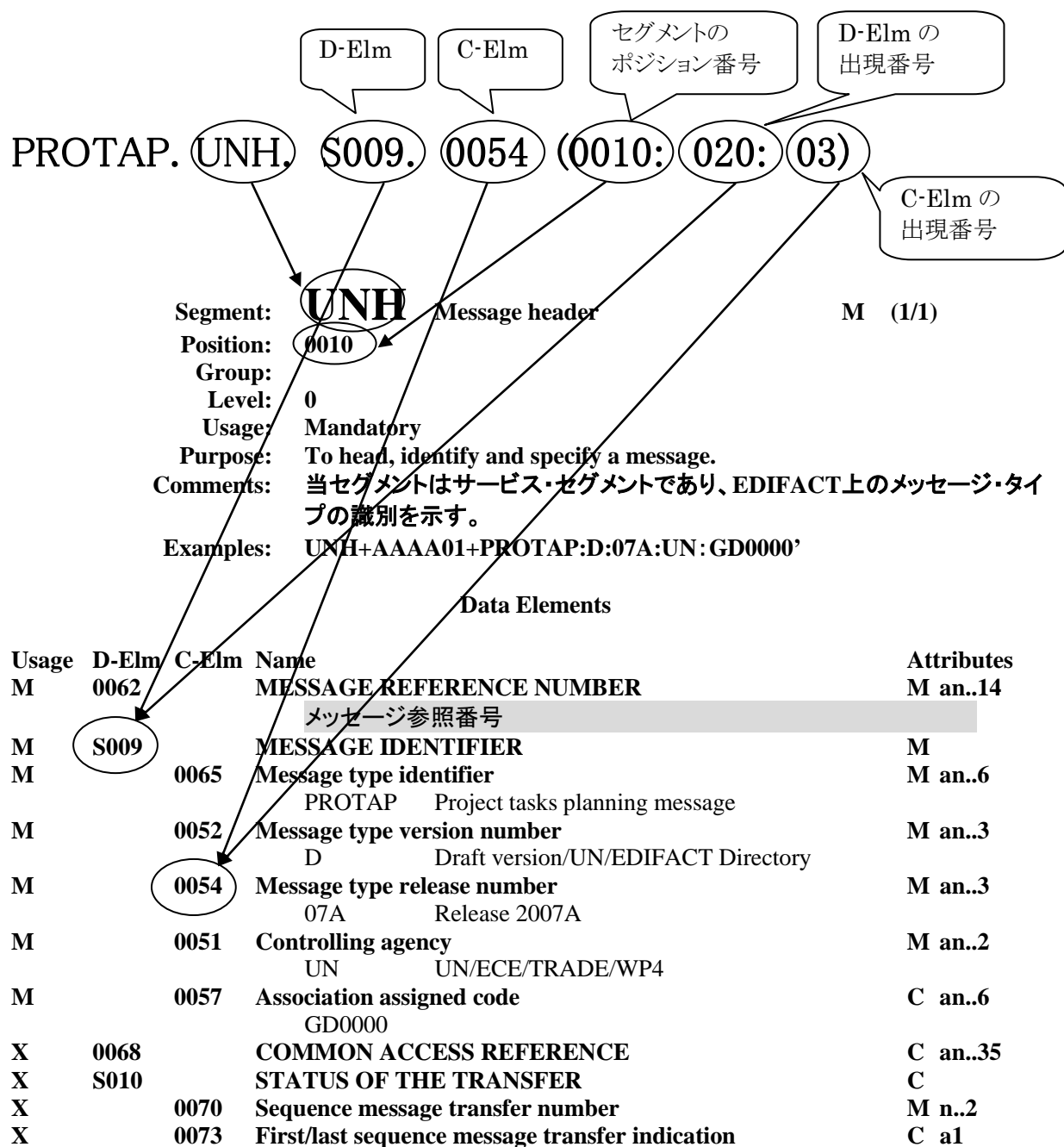
????の部分には当ガイドラインの詳細記述に従って適切な値を設定する。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<jai: SyncCalendar
  xmlns:jai="http://www.jama.or.jp/jai/v2"
  xmlns:oa="http://www.jama.or.jp/oa/v2"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.jama.or.jp/jai/v2 SyncCalendar-Guide-
v2.0.xsd"
  releaseID="JAI"
  versionID="000000">
  <jai: ApplicationArea>
    <jai: Sender>
      <oa: LogicalID schemeAgencyID="?????">?????</oa: LogicalID>
      <jai: InterchangeDateTim>?????</jai: InterchangeDateTim>
    </jai: Sender>
    <oa: BODID>?????</oa: BODID>
    <jai: Receiver>
      <oa: LogicalID schemeAgencyID="?????">?????</oa: LogicalID>
    </jai: Receiver>
  </jai: ApplicationArea>
  <jai: DataArea>
    <oa: Sync>
      <oa: ActionCriteria>
        <oa: ChangeStatus>
          <oa: Code>?????</oa: Code>
        </oa: ChangeStatus>
      </oa: ActionCriteria>
    </oa: Sync>
    <jai: Calendar>
      <jai: CalendarHeader>
        <oa: DocumentID>
          <oa: ID>?????</oa: ID>
          <oa: RevisionID>?????</oa: RevisionID>
          <oa: VariationID>?????</oa: VariationID>
        </oa: DocumentID>
        <oa: DocumentDateTim>?????</oa: DocumentDateTim>
        <oa: Party role="?????">
          <oa: PartyIDs>
            <oa: ID schemeAgencyID="?????">?????</oa: ID>
          </oa: PartyIDs>
          <oa: Name>?????</oa: Name>
        </oa: Party>
        <jai: DateTimPeriod type="?????">
          <jai: DateTimText FormatCode="?????">?????</jai: DateTimText>
        </jai: DateTimPeriod>
      </jai: CalendarHeader>
      <jai: CalendarLine>
        <oa: DocumentReference type="?????">
          <oa: DocumentID>
            <oa: ID>?????</oa: ID>
          </oa: DocumentID>
        </oa: DocumentReference>
        <oa: Party role="?????">
          <oa: PartyIDs>
            <oa: ID schemeAgencyID="?????">?????</oa: ID>
          </oa: PartyIDs>
          <oa: Name>?????</oa: Name>
          <oa: Contact type="?????">
```

```
        <oa:ID>?????</oa:ID>
        <oa:Name>?????</oa:Name>
    </oa:Contact>
</oa:Party>
<jai:DateTimePeriod type="?????">
    <jai:DateTimeText FormatCode="?????">?????</jai:DateTimeText>
</jai:DateTimePeriod>
</jai:CalendarLine>
</jai:Calendar>
</jai:DataArea>
</jai:SyncCalendar>
```

付録. EDIFACT/PROTAP.D07A との Mapping 表

(1) Mapping情報の見方



(2) EDIFACT/SyncCalendar.D07AとのMapping表

Position	Element/Attribute	解 説
0000	jai:SyncCalendar	概要 名前空間を設定する 固定値: http://www.jama.or.jp/jai/v2 http://www.jama.or.jp/oa/v2 http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
0001	<i>xmlns:jai</i>	
0002	<i>xmlns:oa</i>	
0003	<i>xmlns:xsi</i>	
0004	<i>xsi:schemaLocation</i>	概要 スキーマのファイル名を設定する
0010	<i>releaseID</i>	概要 基準となるJAIFグローバルバージョン
0020	<i>versionID</i>	概要 発行機関名称コード Mapping: PROTAP.UNH.S009.0057(0010:020:05)
0030	jai:ApplicationArea	概要 送受信情報を設定する
0040	jai:Sender	概要 送信者情報
0050	oa:LogicalID	概要 送信者識別コード(標準企業コードを推奨する) Mapping: UNB.S002.0004
0060	<i>schemeAgencyID</i>	概要 送信者識別修飾子 Mapping: UNB.S002.0007
0070	jai:InterchangeDateTime	概要 送信日時刻 Mapping: UNB.S004.0017 UNB.S004.0019
	/jai:Sender	
0080	oa:BODID	概要 処理番号 Mapping: PROTAP.SG1.RFF.C506.1153(0060:010:01)
0090	jai:Receiver	概要 受信者情報
0100	oa:LogicalID	概要 受信者識別コード(標準企業コードを推奨する) Mapping: UNB.S003.0010
0110	<i>schemeAgencyID</i>	概要 受信者識別修飾子 Mapping: UNB.S003.0007
	/jai:Receiver	
	/jai:ApplicationArea	
0120	jai:DataArea	概要 メッセージの開始
0130	oa:Sync	
0140	oa:ActionCriteria	
0150	oa:ChangeStatus	概要 変更情報提供識別を設定する。
0160	oa:Code	概要 変更情報提供識別 Mapping: PROTAP.BGM.1225(0020:030)
	/oa:ChangeStatus	
	/oa:ActionCriteria	
	/oa:Sync	
0170	jai:Calendar	概要 実データ部の開始
0180	jai:CalendarHeader	概要 データ部のヘッダーの開始
0190	oa:DocumentID	概要 適用する仕様書を設定する
0200	oa:ID	概要 本ガイドラインのJAMA発行番号+各社メッセージ仕様書名 Mapping: PROTAP.BGM.C106.1004(0020:020:01)
0210	oa:RevisionID	概要 各社メッセージ仕様書のリビジョン番号 Mapping: PROTAP.BGM.C106.1060(0020:020:03)
0220	oa:VariationID	概要 各社メッセージ仕様書のバージョン番号 Mapping: PROTAP.BGM.C106.1056(0020:020:02)
	/oa:DocumentID	
0230	oa:DocumentDateTime	概要 発行日/時刻を設定する Mapping: PROTAP.DTM.C507.2380(0040:010:02)
0240	oa:Party	概要 発注者・受注者の企業情報を設定する Mapping: PROTAP.SG3.PNA(0130)
0250	<i>role</i>	概要 発注者・受注者の識別コード Mapping: PROTAP.SG3.PNA.3035(0130:010)
0260	oa:PartyIDs	
0270	oa:ID	概要 会社企業コード(+事業所コード) Mapping: PROTAP.SG3.PNA.C082.3039(0130:030:01)
0280	<i>schemeAgencyID</i>	概要 コード管理者識別コード Mapping: PROTAP.SG3.PNA.C082.3055(0130:030:03)
	/oa:PartyIDs	
0290	oa:Name	概要 企業名(+事業所名) Mapping: PROTAP.SG3.PNA.C206.7402(0130:020:01)
	/oa:Party	
0310	jai:DateTimePeriod	概要 カレンダー対象期日、対象範囲を設定する Mapping: PROTAP.DTM(0040)
0320	<i>type</i>	概要 日付に関する識別コード Mapping: PROTAP.DTM.C507.2005(0040:010:01) ただし、発行日/時刻は0230のoa:DocumentDateTimeにて設定する
0330	jai:DateTimeText	概要 上記に対応する具体的な日付 Mapping: PROTAP.DTM.C507.2380(0040:010:02)
0340	<i>FormatCode</i>	概要 日付のフォーマット Mapping: PROTAP.DTM.C507.2379(0040:010:03)
	/jai:DateTimePeriod	
	/jai:CalendarHeader	

Position	Element/Attribute	解 説
0350	jai:CalendarLine	概要 明細部を設定する
0360	oa:DocumentReference	概要 カレンダーに関する参考情報を設定する
0370	type	概要 各種識別・区分 Mapping: PROTAP.SG16.RFF.C506.1153(0630:010:01) PROTAP.SG16.SG21.RFF.C506.1153(0860:010:01)
0380	oa:DocumentID	
0390	oa:ID	概要 カレンダーID Mapping: PROTAP.SG16.RFF.C506.1154(0630:010:02) PROTAP.SG16.SG21.RFF.C506.1154(0860:010:02)
	/oa:DocumentID	
	/oa:DocumentReference	
0400	oa:Party	概要 カレンダーの対象となる発注者、納入先(+事業所)の企業情報を設定する Mapping: PROTAP.SG16.PNA(0650)
0410	role	概要 発注者または納入先を示す識別コード Mapping: PROTAP.SG16.PNA.3035(0650:010)
0420	oa:PartyIDs	
0430	oa:ID	概要 会社企業コード(+事業所コード) Mapping: PROTAP.SG16.PNA.C082.3039(0650:030:01)
0440	schemeAgencyID	概要 コード管理者識別コード Mapping: PROTAP.SG16.PNA.C082.3055(0650:030:03)
	/oa:PartyIDs	
0450	oa:Name	概要 企業名(+事業所名) Mapping: PROTAP.SG16.PNA.C206.7402(0650:020:01)
0460	oa:Contact	概要 カレンダー適用部署または担当者を設定する Mapping: PROTAP.SG16.SG17.CTA(0700) PROTAP.SG16.SG21.GIR(0820)
0470	type	概要 担当に関する識別コード。カレンダー適用部署をセットする場合は手配担当を使用する。 Mapping: PROTAP.SG16.SG17.CTA.3139(0700:010)
0480	oa:ID	概要 部署コードまたは担当者コード Mapping: PROTAP.SG16.SG17.CTA.C056.3413(0700:020:01) PROTAP.SG16.SG21.GIR.C206.7402(0820:020:01)
0490	oa:Name	概要 部署名または担当者名 Mapping: PROTAP.SG16.SG17.CTA.C056.3412(0700:020:02) PROTAP.SG16.SG21.GIR.C206.7402(0820:020:01) PROTAP.SG16.SG21.GIR.C206.7402(0820:030:01)
	/oa:Contact	
	/oa:Party	
0540	jai:DateTimePeriod	概要 カレンダーを設定する Mapping: PROTAP.SG16.DTM(0670) PROTAP.SG16.SG18.DTM(0740) PROTAP.SG16.SG21.DTM(0880)
0550	type	概要 カレンダーの内容を区別する識別コード Mapping: PROTAP.SG16.DTM.C507.2005(0670:010:01) PROTAP.SG16.SG18.DTM.C507.2005(0740:010:01) PROTAP.SG16.SG21.DTM.C507.2005(0880:010:01)
0560	jai:DateTimeText	概要 上記に対応する具体的な値 Mapping: PROTAP.SG16.DTM.C507.2380(0670:010:02) PROTAP.SG16.SG18.DTM.C507.2380(0740:010:02) PROTAP.SG16.SG21.DTM.C507.2380(0880:010:02)
0570	FormatCode	概要 日付のフォーマット Mapping: PROTAP.SG16.DTM.C507.2379(0670:010:03) PROTAP.SG16.SG18.DTM.C507.2379(0740:010:03) PROTAP.SG16.SG21.DTM.C507.2379(0880:010:03)
	/jai:DateTimePeriod	
	/jai:CalendarLine	
	/jai:Calendar	
	/jai:DataArea	
	/jai:SyncCalendar	

XML標準化検討委員

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会／ビジネス システム部会／標準分科会／XML-WG

主 査	月原 晶（日産）
委 員	檜崎 契（いすゞ）
	大亀 衛（川崎重工）
	野田 宗裕（スズキ）
	上岡 秀行（ダイハツ）
	塩澤 敬和（トヨタ）
	阿部 忠樹（日野）
	大森 基次（富士重工）
	鏡原 隆司（ホンダ）
	宮寺 夏子（マツダ）
	高村 幸夫（三菱）
	谷井 秀一郎（三菱ふそう）
	山崎 敏夫（ヤマハ）
	本間 直人（UDトラックス）

連絡先:一般社団法人 日本自動車工業会 総務統括部 電子情報システム担当

〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番30号 日本自動車会館

TEL:03-5405-6130

FAX:03-5405-6136

Copyright:一般社団法人 日本自動車工業会